



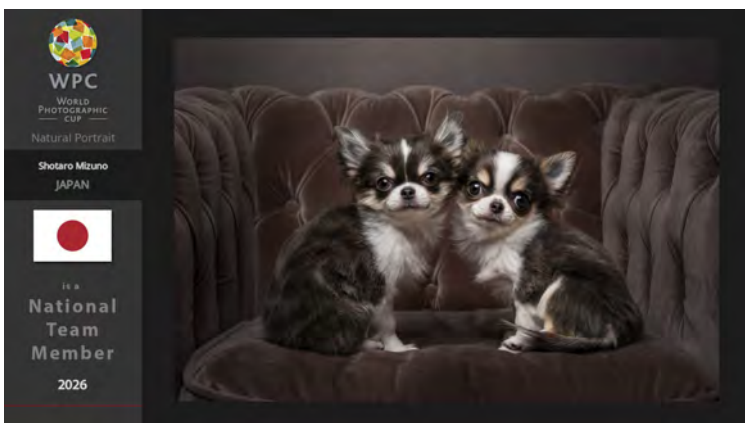
「人と動物の共生できる社会」をテーマに、アート作品を創出する新プロジェクト「LEGACY ART」

【史上最年少からの連続快挙】愛媛発・22歳のドッグフォトグラファー水野祥太郎が、写真のW杯「WPC2026」日本代表に2年連続で選出！

～父と立ち上げたドッグフォトブランドと自身プロデュースの「Dog Legacy」が、ハイブランドと連携しペット業界に新たなアート基準を打ち立てる～

関東や関西、中部エリアを中心に全国でドッグフォトサービス「Dog Legacy」を運営する、水野祥太郎（22歳）が、プロ写真業界の世界大会「World Photographic Cup (WPC) 2026」において、昨年の史上最年少選出に続き、2年連続で日本代表に選出されました。同氏はイマジック合同会社（代表：水野謙治／本社：愛媛県松山市）が展開するドッグフォトブランド「PREMIUM DOG PHOTO」のトップフォトグラファーでもあります。

父子二代での世界大会出場という異例のバックグラウンドを持つ水野祥太郎は、現在、最高峰のドッグフォトブランド「Dog Legacy (ドッグレガシー)」を牽引しています。近年急成長するペット市場において、ドッグウェアのハイブランドや高付加価値サービスとのコラボレーションを通じ、日本のペット業界に「唯一無二のアート写真」という新たな価値基準を構築しています。



WPC2026アイスランド大会に Natural Portrait部門の日本代表作品としてエントリーされた水野祥太郎の作品(左)と、2026年のWPCチームジャパンメンバーの認定証(右)

問い合わせ／イマジック合同会社 (PREMIUM DOG PHOTO／Dog Legacy)
担当／水野 mail／info@imagicllc.info

2年連続のWPC日本代表選出。若き才能が世界で証明した「確かな実力」



2025年大会（エクアドル）での史上最年少（当時21歳）での選出に続き、2026年もWPC日本代表として選ばれた水野祥太郎。写真業界の「オリンピック」とも称される同大会において連続で選出されたことは、一過性の話題ではなく、彼のアート性の高い表現力が世界基準で評価され続けている証です。同じくWPC日本代表経験を持つベテランフォトグラファーの父・水野謙治から受け継いだ世界レベルの撮影・編集技術に、Z世代ならではの感性を融合させた作品は、国内外のコンペティションで圧倒的な評価を獲得しています。

愛犬の個性を最大限に引き出しシンプルに美しく表現することこそ、高いサービス価値を生み出す本質であると祥太郎

父と創設した「PREMIUM DOG PHOTO」と、トップブランド「Dog Legacy」の躍進

コロナ禍以降、愛犬を家族として大切にする機運が高まる中、祥太郎は父と共に新たなドッグフォトブランド「PREMIUM DOG PHOTO」を立ち上げました。その中で、祥太郎自身がプロデュースする「Dog Legacy」は、同社における最高峰（トップブランド）として位置づけられています。

「Dog Legacy」は単なる記念撮影の枠を超え、現在、ドッグウェアのハイブランドや、ペットと過ごせるラグジュアリーなカフェやレストランやホテルなど、高い付加価値を提供するサービスと積極的に連携しています。本物志向の愛犬家のライフスタイルに寄り添い、空間やファッションと調和する「インテリアとして飾りたくなる最高品質のビジュアル」を提供しています。



全国での撮影会にとどまらず、ドッグウェアブランドやアクセサリメーカー、アーティストや作家との連携も急増している



問い合わせ／イマジック合同会社（PREMIUM DOG PHOTO／Dog Legacy）
担当／水野 mail／info@imagicllc.info

「唯一無二の技術とマインド」で、ペット業界のスタンダードを底上げする

ドッグフォト業界への参入者が急増し、写真の質が多様化・散見される昨今。祥太郎は「Dog Legacy」の活動を通じて、日本のドッグフォト業界、ひいてはペット業界全体の水準を引き上げるという強いビジョンを持っています。

「ただ綺麗に撮るだけでなく、毛並みの一本一本、その子本来の個性や家族との絆をアートとして昇華させる」。卓越したライティングやレタッチ技術というハード面だけでなく、命ある動物と真摯に向き合うプロフェッショナルとしてのマインドセット（精神性）こそが、彼の唯一無二の強みです。今後も他には真似できないクオリティを提供し続けることで、日本のペット文化をより豊かで洗練されたものへと進化させていきます。

愛犬との「一瞬」を「永遠のレガシー（遺産）」へ。今後の展望

水野祥太郎および「Dog Legacy」は、今回のWPC2026日本代表への2年連続選出をひとつの通過点と捉えています。今後は、国内外でのハイブランドとの協業をさらに加速させるとともに、全国の愛犬家へ「最高峰のアート体験」を届けるべく、特別なロケーションでの撮影イベントや出張撮影を拡大していく予定です。

その取り組みの一つとして、人と犬との共生社会の実現をテーマに、過去・現在・未来 や何気ない日常を一瞬のアートに刻む「LEGACY ART」も始動しました。

「愛犬の寿命は人間よりも短く、共に過ごせる時間は限られています。だからこそ、その尊い命の輝きを、妥協のない最高の形で残したい」。祥太郎のこの信念を胸に、私たちはこれからも唯一無二の技術とプロフェッショナルとしてのマインドで、日本のドッグフォト文化、そしてペット業界全体の新たな歴史を創り続けてまいります。



「愛犬と家族との絆」を美しく残すための高い視座と技術は、「記念写真」を唯一無二の「価値ある作品」へと昇華させる

・ 本件に関する注目トピックス / 社会的背景 ・

本取り組みは、単なる写真コンテストの代表選出にとどまらず、現在のペット業界・ライフスタイルにおける以下のトレンドを反映しています。

- 1. Z世代の若き才能と、職人技の融合（父子鷹）**：WPC日本代表経験を持つ父・水野謙治から受け継いだ確かな技術に、22歳の祥太郎ならではの最新技術や感性を掛け合わせ、世界基準のクリエイティブを生み出しています。
- 2. 急成長する「ペットのラグジュアリー市場」**：トップブランド「Dog Legacy」は、ハイエンドなドッグウェアブランドや高付加価値サービスと連携しています。ペットを「家族の一員」として大切に、本物を求める富裕層・本物志向層の新たなライフスタイルと消費動向を牽引しています。
- 3. アートとしてのドッグフォトの確立**：従来の「可愛いペット写真」から一線を画し、インテリアとして成立する卓越した世界基準のライティングとレタッチ技術を駆使。命ある動物に敬意を払い、毛並みや瞳の奥の輝きまでを引き出す「写真のアート化」を実現しています。

・ 画像手配リリース詳細及び当社の広報に関するお問い合わせ先 ・

問い合わせ／イマジック合同会社（PREMIUM DOG PHOTO／Dog Legacy）
担当／水野 mail／info@imagicllc.info